

○「平成29年度学生生活実態調査」における、学生の声に対する大学の対応・検討状況

1. 多数意見

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
3-1	学内外の交通	<p>大学へのバスによるアクセスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広島市、東広島市街(各駅)との接続</li> <li>・便数の改善(雨天時の対応, 増便)</li> <li>・運賃の値下げ</li> </ul>	<p>大学構内への交通結節点整備(平成32年度予定)の中で、東広島市に対し、JRダイヤとバスダイヤの接続改善、西条駅-広島大学間の朝晩の便数増加や料金の値下げ、グリーンフェニックスの直行便の新設及び深夜便の追加等の要望を行っております。</p> <p>今後、結節点整備に当たり、東広島市やバス事業者など関係機関と協議しながら、具体的な検討を進めていく予定ですが、できることから実施に移していきます。</p> <p><b>【霞地区運営支援部学生支援室】</b> 霞と東広島間(約40キロ)で授業のための移動手段として、シャトルバスを配車(霞⇄東広島)して通常より安価な金額で移動できるようにしました。</p>	総務G
3-1	学内外の交通	<p>学内の自転車通行の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学本部と北1福利会館間通路の自転車通行規制の撤回</li> <li>・通路の改善(歩車分離, 通行制限物の撤去など)</li> </ul>	<p><b>【総務G】</b> 安全管理上の観点から、大学本部と北1福利会館間通路の自転車通行規制の撤回はできかねます。同場所は構内で最も通行量が多く、勾配のある坂道のため、過去において人身事故が多発した区域であります。同場所において、更なる重大な人身事故を引き起こす恐れがあると認められたため、本学安全管理上の見地から、窮余の措置として自転車の乗り入れ規制を行ったものです。また、当該措置は、本学の安全管理上の責任のみならず、本学学生・教職員から一人の怪我人も出してはならないとの人身安全の精神から行ったものでもあります。</p> <p>さらに、忘れてはならないポイントとして、道路交通法上、自転車は軽車両として歩行者保護が義務付けられていることです。一旦、人身事故の当事者となった場合には本人が重大な障害等を負うことはもとより、加害者となった場合には刑法上の重過失致死傷罪等の刑罰を適用され、加えて民事上の損害賠償責任も負うこととなります。全国的に自転車による重大交通事故が多発して自転車マナーの向上が叫ばれている現状に鑑みて、今後とも自転車の乗入れ規制にご協力をお願いいたします。</p> <p>歩車分離等の通路改善については、同区域は構造的に歩行者と自転車を完全分離することは不可能であります。現在設置している通行規制バーは、歩留まりとして自転車速度の減速化に貢献しており、事故防止に大きな役割を果たしていることから撤去はできかねます。</p> <p><b>【施設企画G】</b> 平成29年度は、東広島団地のががら地区や総合科学部南側及び霞団地の北側等において、安全な構内道路の確保を目的とした整備を実施しています。なお、道路の拡張や歩車分離等の諸課題については、施設の整備方針や中長期計画等を定めた「広島大学キャンパスマスタープラン2016」内で検討しており、今後は同プランに基づいて計画的に改善していく方針としています。また、部局等から構内道路等の改善要望があった場合や施設パトロールで不具合等が見受けられた場合は、緊急性や重要度を指標とする点数化を行い、優先度の高い事業から実施する等、施設の整備や維持管理を効率的・効果的に進めているところです。</p> <p><b>【学生生活支援G】</b> 構内の通行規制区域は、事故が起こる可能性が高いと見できたり、危険箇所として通報があったり、実際に事故が多発したことから、事故防止のためにやむなく規制をかけていることをご理解ください。現行の規制を単に撤回することは簡単ですが、それでは事故防止という課題の解決にはなりません。また、現在の規制措置以外にも対応方法はありますが、方法や費用対効果等を総合的に勘案した結果、現在の対応を取っております。</p> <p>自転車と歩行者通路の分離の提案は、有効な事故防止策の一つとして認識していますが、構内の全通路で分離措置を取ることはスペースの問題等から現実的でないため、特に対策が必要で対応できる箇所において歩車分離を行っており、今後も必要に応じて関係部署と検討していきます。</p> <p>構内の通行について、今後も建設的で有効な提案をいただければ幸いです。</p>	<p>総務G 施設企画G 学生生活支援G(学活)</p>

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
3-8	設備等	トイレ設備の改善(改修・洋式化等)	<p><b>【施設企画G】</b> 平成29年度は、東広島団地の総合科学部講義棟や理学部研究棟及び竹原団地の研究棟などでトイレの改修工事を実施しており、その外にも年間400件程度、トイレの修繕を行っています。なお、トイレのバリアフリー化や洋式化等の諸課題については、施設の整備方針や中長期計画等を定めた「広島大学キャンパスマスタープラン2016」内で検討しており、今後は同プランに基づいて計画的に改善していく方針としています。また、部局等からトイレの改善要望があった場合や施設パトロールで不具合等が見受けられた場合は、緊急性や重要度等を指標とする点数化を行い、優先度の高い事業から実施する等、施設の整備や維持管理を効率的・効果的に進めているところとあります。その外、老朽化した施設については、全面改修のための概算要求を行っており、予算化された事業からトイレを含めた全面的な改修工事を行う計画です。</p> <p><b>【情報メディア教育研究センター(情報化推進G)】</b> 情報メディア教育研究センターのトイレ設備の改善については、所掌部署に対し例年営繕要求を行っているところとあります。今後も引き続き要求を行います。</p> <p><b>【総合科学研究科支援室】</b> ・総合科学部講義棟(L棟)1階トイレの整備・改修を行いました。(一部を洋式化等) ・トイレの清掃や石鹸の補充が不十分との指摘については、共通事務室を通じて清掃業者に改善の依頼を行いました。</p> <p><b>【文学研究科支援室】</b> 文学研究科の研究棟及び講義棟のトイレについて、平成19年度に7カ所(男子:2, 女子:5)和式から洋式に変更し、平成19年度以降に6カ所(男子:3, 女子:3)変更し、2階の男子トイレを多目的トイレへ変更しました。(何れも時期は未確認)これで、それぞれのトイレに最低1つは洋式が整備されました。なお、今後は今のところ変更の予定はありません。 平成29年度に全洋式トイレについてウォシュレットを完備しました。</p> <p><b>【教育学研究科支援室】</b> トイレの改善については、改修方法や改修に係る経費等については、大学本部関係部署(施設企画G等)と相談しつつ、教育学部・教育学研究科として前向きに検討します。</p> <p><b>【社会科学研究科支援室】</b> 設備の改善・改修等について、具体的なご要望をお聞かせください。 費用の関係で対応が難しいこともあるかもしれませんが、検討して改善していきたいと思っております。 現在、法学部・経済学部は、和式・洋式の割合がおおよそ半々となっています。検討はしていきますが、洋式を好まない人もいますので、現状すべて洋式にはしないように考えています。</p> <p><b>【霞地区運営支援部学生支援G】</b> 霞体育館のトイレについて、割れている便座等は修理済みです。</p> <p><b>【生物圏科学研究科支援室】</b> ・建物が老朽化していることもあり、全体的に暗く、トイレも清潔とは言い難いことは承知しています。日常清掃による不備は委託業者に改善を要望して清潔に保てるように善処します。 ・点検を行い、便座クリーナーなど破損している箇所があれば機器を交換します。 ・生物圏科学研究科一階のトイレの新たな設置は困難ですが、鍵が締まりにくいドアについては施設部に要求して改修を行いたいと考えています。</p>	施設企画G 関係研究科等支援室
3-11	駐車場・駐輪場関係	駐輪場に関する要望 ・拡張、整備(学生プラザ前、中央図書館前、各学部付近 等)	<p><b>【施設企画G】</b> 平成29年度は、霞団地の医学部・歯学部等において、駐輪場の整備を実施しています。なお、駐輪場の拡張や適正配置等の諸課題については、施設の整備方針や中長期計画等を定めた「広島大学キャンパスマスタープラン2016」内で検討しており、今後は同プランに基づいて計画的に改善していく方針としています。また、部局等から駐輪場の改善要望があった場合や施設パトロールで不具合等が見受けられた場合は、緊急性や重要度等を指標とする点数化を行い、優先度の高い事業から実施する等、施設の整備や維持管理を効率的・効果的に進めているところとあります。</p> <p><b>【学生生活支援G】</b> 駐輪場については、新設・拡張がなかなか難しいことから、現在の駐輪場を最大限活用するため、駐輪スペースを圧迫している放置自転車等の撤去を引き続き行っていきます。 放置自転車が増えることのないよう、学生の皆さんには不要となった自分の自転車は責任を持って処分するようお願いするとともに使用中も盗難に遭って放置されることがないよう二重施錠するなどの防犯にも取り組んでいただくようお願いいたします。 なお、放置自転車を増やさないための大学の取組として、卒業式前の時期に不要となった自転車の無料回収を引き続き行いますので、ぜひ活用してもらえたらと思います。</p>	施設企画G 学生生活支援G

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
4-1	食堂	利便性の向上 ・値段を安くしてほしい ・混雑の改善 ・営業時間(休日、長期休暇時期)の延長	<b>【生協より】</b> ・価格について 価格については具体的に「いくら」位を希望されているのでしょうか？ 具体的な提案をいただければ、検討いたします。 現在の生協の価格等についての考え方は以下のとおりです。『「食の楽しみを増幅し、「おいしさ」を追究し、正しい味覚を身につけてもらう食育の理念を体現する商品の提供です。価格訴求だけの物作りで「おいしい」と評価される商品は生まれません。相対的には低価格を実現しながら、お値打ち感をあげ、値ごろ感を訴求する「知恵」、大学生協にしかない商品創造を可能とする技術力の蓄積が必要です。大学生協自ら品質を決定しその基準を定め、素材・調理加工方法を見なおし、開発と検証を繰り返し、8割以上の利用者においしいと評価される適切な味、飽きのこない味を実現する「おいしさの革新」を追究します。』(生協『「食」事業政策』より。) ・混雑の改善について 現金決済を極力少なくする取り組み(レジスピードの改善)、西2食堂のテーブル・椅子を更新して通路幅を広くして「利用されていない席」をなくす取組、北2食堂のレジの配置変更などを進めています。ただ、利用者に比べて圧倒的に席数が不足しています。お昼休みの前後に空きコマがある場合など、時差利用についてご協力いただければと思います。また、混雑時には食事が終わったらすぐに席を空けていただくなど、ご協力いただければと思います。 ・営業時間の延長について 土曜日の夕方営業、日曜日の営業など検討を進めています。働き手を確保することがいま最も困難なことで、このことを中心に問題解決し、営業できるように準備を進めています。	学生生活支援G(学活)
5-1	就職	就職活動支援の拡充	現在、グローバルキャリアデザインセンターでは、1年次生から活用できる進路・職業選択支援プログラムとして、以下の4つを行っています。 ①教養教育科目の必修科目である「大学教育入門」の中で1コマを担当 ②教養ゼミでのキャリアガイダンスの実施 ③キャリア教育科目の開講 ④インターンシップの実施(事前・事後指導含む) ⑤大学運営支援業務の紹介 また、卒業(修了)の前年次生からの就活支援プログラムとして、主に以下の6つを行っています。 ①就職ガイダンス、セミナーの実施 ②就活支援ツアー(東京・大阪)の実施 ③就活ハンドブックの配布 ④キャリア相談・就職相談 ⑤学生情報の森「もみじ」の進路・就職システムによる支援 ⑥東京オフィスでの就活支援 以上の就活支援を行っていますが、就活支援が手薄だというご意見がありました。おそらく、必要な情報が学生の皆さんに十分に伝わっていない結果と考えられます。現在、センターHP、Myもみじ、学部・研究科ポスター掲示などに加え、新たにデジタルサイネージを学生プラザに設置するなど、情報発信力強化に努めていますが、学生の皆さんにも必要な情報を自ら収集する努力を期待しています。なお、キャリア相談に来られる学生のリピート率は高く、一定の満足をしていただいていますので、ぜひ多くの学生にグローバルキャリアデザインセンターを知ってもらい利用していただきたいと考えています。また、就職ガイダンスの参加者アンケートでは、高い評価をいただいていますので、積極的に活用してみてください。	キャリア支援G

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
6-2	経済支援関係	<p>経済支援の整備・拡充 ・実習、研究等への助成</p>	<p><b>【学生生活支援G】</b> 授業料免除申請の書類の負担軽減のため、来年度実施を目標に提出書類の軽減を検討しております。</p> <p><b>【総合科学研究科支援室】</b> ・学生自身で企画・遂行するプロジェクト研究の支援を目的とした「学生独自プロジェクト」への助成を行っています。 ・大学院生を対象に、外国で開催される国際会議等で発表を行うための支援として、渡航費及び宿泊費の助成を行っています。</p> <p><b>【文学研究科支援室】</b> 文学研究科の留学生の経済支援について、留学生用の奨学金はあるが年々留学生が増えているため全員に行きわたっていません。アルバイト(サポーター制度を含む。)だけでは収入が少なく経済的に苦しいと思いますが、研究科として対応がなされていません。今後は、文学研究科独自のサポーター制度が実現できるか検討します。</p> <p><b>【教育学研究科支援室】</b> 教育実習に係る経費は、学生の負担が大きいことや実習先により負担が異なることは、把握しています。ですが、広島大学の教育実習が遠隔地にある附属学校で実施することや実習に係る経費は原則、個人負担であることを理解してください。また、実習に係る経費への補助については、教育実習のみならず大学には様々な実習があることを鑑みれば、教育実習のみ補助することは公平ではないと考えます。ただし、学生の皆さんに提供する教育実習の具体的な情報(場所、経費、規則等)が不足している部分もありますので、できるだけ早い段階で説明し、学生のみなさんに理解いただけるよう努めます。</p> <p><b>【社会科学研究科支援室】</b> 大学院に在籍する日本人学生が、海外で開催される国際学会において外国語で発表する場合、経費を支援する制度があります。主指導教員を通じて、支援室にご相談ください。</p> <p><b>【理学研究科支援室】</b> 平成29年度入学生から理学部・理学研究科後援会による教育・研究活動(国際交流含む。)への支援を行うこととしました。</p> <p><b>【先端物質科学研学研究科支援室】</b> エクセレント・スチューデント・スカラシップの枠を研究科の予算で拡充しています。 研究科予算による様々な修学支援制度(海外派遣支援、短期留学支援、国内における国際学会発表支援、英語能力検定試験受験料支援、後期学生奨学金、後期学生研究活動支援)を行っています。</p> <p><b>【霞地区運営支援部学生支援G】</b> 海外発表支援金として、広島大学基金による日本人大学院生海外発表支援金を助成しています。</p> <p><b>【工学研究科支援室】</b> 工学同窓会からの奨学金を、学部生・大学院生に案内し、支給しています。 支給目的は、留学、海外インターンシップ、国際学会発表、学術・社会的活動、経済的困窮など多岐にわたります。 奨学金を必要としている学生に情報が行きわたるよう、もみじや学部の掲示版のみならず、全教員へメールで情報提供しています。</p>	<p>学生生活支援G(経済) 関係研究科等支援室</p>
7-2	規範・マナー・モラル等	<p>学生のマナー意識が低い ・自転車使用、駐輪マナー</p>	<p>駐輪マナー対策としては、学生プラザ付近で駐輪場外に駐輪したり、駐輪場内でも通路部分に駐輪している自転車に対し、必要に応じてロック措置や強制撤去を行い、個別に指導をしています。 また、駐輪等に関するマナーについては、以前から新入生全員に配付する「学生生活の手引」で注意喚起しており、折に触れてMyもみじの掲示等で注意喚起を行っております。 マナー・モラルの問題は個人の規範意識に基づく部分が大きいですが、大学としては今後も引き続き、規範意識向上の動機付けの取組を行う予定です。</p>	<p>学生生活支援G(学活)</p>

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
10-2	学生支援(教職員)	支援室等での対応について	<p>【総合科学研究科支援室】 支援室の窓口が学生が訪れた際は、丁寧で迅速な対応を心掛け、実践しています。</p> <p>【文学研究科支援室】 平成29年10月から契約職員を1名増員し、学生支援の業務と窓口対応を行っています。経験を積み重ね現在はイレギュラーなこと以外は均一的な窓口対応ができています。</p> <p>【教育学研究科支援室】 教育学部・教育学研究科は、学部15コース、大学院18専攻・専修及び特別専攻科で構成され、約2800名の学生が在籍しています。学生支援室では、大学生生活に必要な様々な事柄について支援しています。学生支援室の職員は、できるだけ丁寧かつ迅速に対応できるよう常に心がけていますが、支援室職員一人一人が全ての業務について精通しているわけではありません。内容によっては対応に時間を要することもあります。これも誤った対応により、学生に不利益が発生しないためです。また、一方で、学生支援という一つの方針として、学生のみなさんが一人前の社会人として巣立ってほしいとの願いもあり、期限等のルールを守らない学生には厳しく対応することもあります。しかしながら、指摘のとおり、不適切な対応により不快な思いをさせることがあれば、職員相互に注意しあい、適切な対応ができるように改善したいと思います。</p> <p>【社会科学研究科支援室】 全学で定められている「学生支援スタッフの心得」に基づき、対応を心がけていますが、言動に気付けないこともありますので、匿名で意見を投書できる「意見箱」(講義棟1階教務掲示板近くに設置)に、可能な限り具体的な事案、要望でご意見ください。</p> <p>【先端物質科学研究科支援室】 意見をふまえて今後も適切に対応します。</p> <p>【霞地区運営支援部学生支援G】 窓口対応(学生からの相談)等については、グループ内で共有することが必要な情報は連絡ミスがないよう徹底し、学生への対応を迅速に行います。</p> <p>【工学研究科支援室】 このたびの学生からの意見・要望を真摯に受け止め、支援室独自でSDを開催することとしました。学生窓口対応の重要性について共通認識を持ち、改善することを目的としています。</p>	各研究科支援室
10-5	教育(カリキュラム・講義・研究・入試等)	授業について ・クォーター制について ・霞キャンパス学生その他キャンパスでの受講について	<p>【クォーター制について】 クォーター制の課題として、2コマ連続の授業科目における「欠席時の影響」と「集中力の持続」が多く挙げられています。従来のタム科目では2コマ連続での開講を基本方針としておりましたが、上記の課題を解決するため、この方針に「異なる曜日で週2コマ」という開講パターンを加えることを平成29年度に全学で決定いたしました。また、「集中力の持続」に対応するため、教員による一方的な講義形式だけでなく、教室内でのグループ・ディスカッション、協働学習、ディベート、グループワーク等を組み込んだ授業の促進等に努めていきます。</p> <p>【霞キャンパス学生その他キャンパスでの受講について】 平成30年度から、霞キャンパスの学生が東広島キャンパスで受講する日が少なくなるよう、時間割を整備しました。また、交通の便を確保するため、第1タム月曜日に霞一東広島間のシャトルバスを往復で運行しています。</p>	教育推進G

## 2. その他対応・検討案件

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
3-1	学内外の交通	大学へのバスによるアクセスの向上 ・広島市、東広島市街(各駅)との接続 ・運賃の値下げ	霞と東広島間(約40キロ)で授業のための移動手段として、シャトルバスを配車(霞⇄東広島)して通常より安価な金額で移動できるようにしました。	霞地区運営支援部学生支援G
3-1	学内外の交通	学内の自転車通行の改善	新1年生全員に対して、広島南警察署の協力のもと交通安全講習会をガイダンス時に開催・指導し、併せて新1年生で自転車に乗る学生には後輪カバーに反射テープを張るように指導しました。	霞地区運営支援部学生支援G

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
3-2	施設関係	空調設備の不具合等	平成29年度は、歯学部研究棟Cにおいて空調設備の更新を含む全面改修や教育学部等で34系統の空調設備更新を実施したほか、年間で400件程度、空調整備の修繕を行っています。なお、老朽化した施設については、全面改修のための概算要求を行っており、予算化された事業から空調設備を含めた全面的な改修工事を行う計画です。また、部局等から空調設備の改善要望があった場合や施設パトロールで不具合等が見受けられた場合は、緊急性や重要度等を指標とする点数化を行い、優先度の高い事業から実施する等、施設の整備や維持管理を効率的・効果的に進めています。	施設企画G
3-2	施設関係	空調設備がお粗末	空調機を更新するため調査を業者に依頼したところ、32台が「機器が古く効きが非常に悪い」「経年劣化による機能低下」と判断されました。概算では1,483万円かかるので、予算がつき次第更新していきます。	文学研究科支援室
3-2	施設関係	防犯の面から広島大学農場前～サイエンスパークまでの道に街灯を設置してもらいたい。	暗い道は、犯罪を誘発するので、施設部に要求を行いたいと考えています。	生物圏科学研究科支援室
3-2	施設関係	生物生産学部の建物の改善してほしい。	建物改修については、築20年を過ぎて大型改修の時期が近付いています。国からの支援が必要なため、本部施設部と調整し概算要求を行っていきます。	生物圏科学研究科支援室
3-2	施設関係	工学部～生物生産学部間など、歩道の舗装を直してほしい。街路樹の根が張りすぎて路面がぼこぼこしていて自転車で転びそうになっている人を見かける。	本部施設部に要求していますが、措置されていません。継続的に要求を行い改善していきたいと考えています。	生物圏科学研究科支援室
3-4	自習スペース・フリースペース	・ホワイトボードがあるディスカッションスペースや共同作業が気軽にできる空間をもっと増やしてほしい。 ・図書館以外にもグループで話し合いができる場所を確保して欲しい。	平成29年度に西図書館3階にグループワーク室を整備しました。可動式の什器のほか、ホワイトボードやプロジェクタが設置されています。 また、情報メディア教育研究センター本館2階のセミナー室も同様な目的でご利用いただけます。	情報化推進G
3-4	自習スペース・フリースペース	また、他大学では学内に24時間勉強などに利用できる施設があるようです(京都大学や神戸大学の図書館など)広島大学にもそういった施設がほしいです。	現在検討を行っています。(中央図書館)	図書学術情報普及G
3-4	自習スペース・フリースペース	東広島キャンパスは図書館も食堂も閉まるのが早く、学部生時に市内の実家から通っていた私は夕方から夜の時間帯に勉強する場所がなく困りました。今は研究室に配属され勉強場所に困らなくなりましたが、学部生にとっては24時間使用できる自習室などがあればより素晴らしい学習環境になると思います。	現在検討を行っています。(中央図書館)	図書学術情報普及G
3-4	自習スペース・フリースペース	・文学部棟の空き教室を以前のように自習室として開放してほしい。 ・university could build more outdoor free space for relaxing and study. ・学生が自由に使用できる教室——自主的な学習会などに使える教室がない。	休業期間は、19時までB153講義室を自習室として開放しています。以前は全教室を開放していましたが、空調を1人で使用していることが多かったため、省エネの観点で空調ボックスも施錠することとしています。自習室が足りない場合は、図書館、自宅、学生ロビーを利用するようお願いしています。学生ロビーは、使用制限はありません。	文学研究科支援室
3-4	自習スペース・フリースペース	・学校で自習をしたいのに決められた時間になると教室が閉められてしまう何とかしてほしい。 ・教室を夜間も解放してほしい。	施設の管理面・学生の防犯上の観点から、授業期間の平日は21時、それ以外は19時に施錠することとしています。施錠時間以降は図書館、自宅、学生ロビーを利用するようお願いしています。学生ロビーは、使用制限はありません。	文学研究科支援室

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
3-4	自習スペース・フリースペース	・自習室, 多目的室がほしい。 ・24時間使用できる自習室がほしい	講義棟1階ロビーを自習・フリースペースとして設けているほか, 授業や使用予定の入っていない演習室を“自習室”として開放しています。詳しくは別途案内掲示をご参照ください。 使用時間については, 講義棟内のみならず, 帰路についても深夜は危険が伴うため, また, 夜間は職員が常駐しておらず, 警備員のみ管理となり, 不審者や事故など何事か起こっても早急に対処することができない場合があるため, 安全面を考慮し使用時間を制限しています。	社会科学研究科支援室
3-4	自習スペース・フリースペース	休憩室や仮眠室のようなものがほしい。図書館では友達に質問したりしにくいので, フリースペースをもっと増やしてほしい。	自習室として, C205講義室を授業のない時間帯に自由に使用できるよう開放しているので活用していただきたいです。フリースペースについては, C棟2階ロビー, 学生支援室横のスペースがあるので十分と思われます。	生物圏科学研究科支援室
3-5	学生宿舎等	学生宿舎5,6号館の施設の老朽化	学生宿舎5, 6号館の老朽化については, 平成26年度より段階的に改修工事を行っており, 平成29年度には学生宿舎6号館の4,5階シャワー室において改修工事を実施しています。	施設企画G
3-6	喫煙所	喫煙室の外で喫煙している	喫煙は喫煙室の中で行う旨のポスターを作成し, 掲示を行いました。	総合科学研究科支援室
3-7	情報環境	Wi-Fiがつながりにくい, 電波が届かないところがある。	Wi-Fiは原則として利用者が多く集まる共有スペースを中心に整備を行っており, 平成28～29年度には教室への大規模な追加整備を行いました。 電波強度の調整や設置場所の変更等については, 引き続きご意見やご要望を参考に随時行います。 なお, 利用者が限られる研究室等については, 無線LANアクセスポイント設置ガイドを参考に個別の設置をお願いしております。	情報化推進G
3-7	情報環境	ICE端末の廃止に反対, パソコンが古い, 起動が遅い	必携PCの年次進行に伴い設置場所や台数の規模は縮小しますが, 一部のICE端末については平成30年9月末までに更新を行います。 また新しいICE端末では, 設置されるディスプレイに持ち込みPCを接続できる仕様となっております。	情報化推進G
3-7	情報環境	・学内Wi-Fiの接続が研究室内で弱く回線も混んでいる事で調べる時に支障が出ている。 ・Wi-Fiが脆弱すぎるのもっと強くしてネットがサクサクできるようにしてほしい。インターネット接続を待っている時間がとても勿体無い。	研究棟のアクセスポイントは建物中央のパイプスペース(EPS)に設置されています。アクセスポイントからの距離で接続しにくいことは考えられます。スムーズな接続を希望するのであれば, 研究室内に無線ルータを設置することは可能です。しかし, 設置に関しては申請が必要で, 経費は研究室の負担になります。	文学研究科情報企画室
3-7	情報環境	図書館のwi-fiがつながりにくくて自分のノートパソコンでネットを使用できないことがあり, 不便だと感じた。	Wi-Fi整備工事により対応済みです。(2018年3月, 中央図書館)	図書館学術情報企画G
3-7	情報環境	図書館における劣悪なネットワーク環境の早急な改善を要望する。将来的に学生のPC所有が必須となり, 既存端末が削減されるなかで, 現状のままでよいのだろうか。今後のプランと現状が乖離していると言わざるを得ない。	Wi-Fi整備工事により対応済みです。(2018年3月, 中央図書館)	図書館学術情報企画G
3-8	設備等	外灯が切れている。	不点灯の外灯について, 利用者から連絡があった場合や施設パトロール等で不具合が見受けられた場合は, 修繕や球替え等の対応を適宜行っており, 平成29年度は54件の不具合を解消しています。	施設企画G
3-8	設備等	研究棟の学部による格差をなくしてほしいです。格差とは主にトイレの綺麗さやフリースペースの充実度合いなどです。	それぞれに建物設置時期が違うため難しいのですが, トイレについては改善を図っていきます。	生物圏科学研究科支援室
3-8	設備等	生物生産学部棟の廊下が暗く, 壁の汚れが目立ち, 蜘蛛の巣が張っていることが気になっています。学生生活の大部分を過ごしている場所なので, 明るい気持ちで勉学に励めるよう, 少しでも改善して頂きたいです。	東広島キャンパスで一番古い建物となっています。建物改修を行う時期に来ているので早急に改修していただけるよう本部に働きかけます。	生物圏科学研究科支援室

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
3-9	講義室・研究室等の設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館と同じリターン制でもいいのでロッカーが欲しい。</li> <li>クッション性の椅子にしてほしい。</li> <li>文学部棟が狭く、研究室は慢性的にバンク状態である。</li> <li>教室が狭い。使い勝手が悪い。椅子、机が重い。教室は授業、人数に応じて自由に変えられるようにできるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学部棟は、ロッカーを設置すること、また研究室を広げることが物理的にスペースがないため不可能です。</li> <li>講義室のうち規模の小さい講義室は、クッション性の椅子となっています。9講義室のうち5講義室がクッション性の椅子を使用しています。</li> <li>今後のクォーター制完全移行による教室確保のため、H30年度から情報企画室と資料室を講義室又は演習室として整備しました。</li> </ul>	文学研究科支援室
3-9	講義室・研究室等の設備	講義棟1階ロビーに空調設備を整備してほしい。	<p>授業で使用している講義室の空調機は、各室にリモコンもしくは操作パネルがありますので、授業担当教員もしくはTA等に申し出て、調整していただくようお願いします。</p> <p>現在、法学部・経済学部講義棟1階ロビーには、ボイラーによる暖房設備はありますが、冷房設備がございません。ロビーに冷房設備を整備する場合、相応の能力のものが必要となり、現状では費用の関係から整備することは非常に困難ですので、ご了承ください。なお、冷暖房設備を備えた演習室を“自習室”として開放していますので、案内掲示をご覧ください。</p>	社会科学研究科支援室
3-9	講義室・研究室等の設備	院生研究室の机が足りない。	定員分の座席数はありますが、入学者数の増加と修了者数の減少に伴い、座席数が不足する傾向にあります。29年度に院生研究室を増やしましたが、今後も在籍者数が増加することも想定されます。予算上の制約もありすぐには座席数を増やすこともできないため、一部の専攻では、30年度から段階的に、従来の固定座席方式から自由座席方式に変更するなど、バランスよく使用できるよう対応しています。	社会科学研究科支援室
3-9	講義室・研究室等の設備	共同で使う機器室の実験機器くらは早く修理してほしい。	共通機器室A601に設置してあるリアルタイムPCRシステムが10か月以上故障で使用できない期間がありましたが、2017年12月に修理を行いました。修理費が高額であったこともあり対応が遅れました。この他、故障中、調整が必要な機器が複数ありますが、学生実験に支障がでないよう早急に修理等を行いたいと考えております。なお、研究科には同様な機器が他の機器室にもありますので指導教員に相談していただきたいです。	生物圏科学研究科支援室
3-9	講義室・研究室等の設備	一研究室につき学生部屋一つは確保できるようにしてほしい。実験室で一日過ごさないとならないのは健康上悪いと思う。	学生居室は、なるべく確保できるよう対策をしていますが、十分ではありません。空き部屋を整理し、学生居室として活用できるよう検討します。	生物圏科学研究科支援室
3-11	駐車場・駐輪場関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学部棟横の駐輪場が狭い・不足している。広げてほしい。</li> <li>教育学部生が多く利用している。</li> </ul>	教育学部の文学部側に駐輪場を増設していますが、坂の上ということで、今だに教育学部生も文学部棟横の駐輪場を利用していると思われます。教育学研究科支援室には教育学部生は教育学部生用の駐輪場を利用してもらおうよう再三依頼していますが大きな改善は見られていません。	文学研究科支援室
3-11 7-2	駐車場・駐輪場 規範・マナーモラル	駐輪場の問題	駐輪スペース確保のため、理学部E棟南側の駐輪禁止としていたスペースの駐輪を認めることとしました。(平成29年度)もみじ掲示板や理学部棟内の広報用ディスプレイを活用し、駐輪禁止場所や空いている駐輪スペースの周知を行いました。(平成29年度)	理学研究科支援室
3-11	駐車場・駐輪場関係	駐輪場が狭いので増やしてほしい。複数個所にほしい。雨をしのぐ屋根がほしい。建物東側の駐輪場の段差をなくしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>C棟北側の駐輪場は、3月に増設整備を行いました。東側の段差については検討します。A棟東側の駐輪場及び新設したバイク用駐輪場の南側については余裕があります。学生諸君も近いところだけではなく、各駐輪場の空き状況を確認して利用してください。</li> <li>駐輪場の増設は、建物周辺にこれ以上場所を確保するのは難しいのですが、設置可能な場所があるか検討します。中庭は火災、地震時など緊急の避難場所に指定しているため駐輪場にはできないことをご理解ください。</li> <li>放置自転車が春、秋にでるのでそれらを処分することでスペースを確保したいと考えています。</li> <li>A棟北側の駐輪禁止については、消防署から火災時にはしご車が入れるよう建物周辺の駐車・駐輪を禁止するよう指導を受けたため廃止しています。ご理解ください。</li> </ul>	生物圏科学研究科支援室
3-11	駐車場・駐輪場関係	生物生産学部の駐輪場について、規制の仕方が良くない。もともと駐輪場であったところを駐輪禁止にしている意味も分からない。ただ、移動を促す紙を貼るだけでは改善しないので、以前のように警備員さんに自転車を移動してもらおうなどの強制措置も必要かと思う。	駐輪場では、2重、3重に駐輪されており、利用者マナーが徹底されていません。絶対数の不足も原因ですが、車道に自転車がはみ出した状態は事故を招くため、利用者もはみ出さないような駐輪方法を考えていただきたいです。	生物圏科学研究科支援室
3-12	図書館	図書館の開館時間延長	授業期と平日は24時まで開館延長を行っています。(2018年4月より、中央図書館)	図書館学術情報普及G

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
3-12	図書館	図書館の営業時間が短い。長期休暇中の営業時間を10:00から20:00などの利用しやすい時間帯に変更してほしい。また、テスト期間中は24時間営業してほしい。視聴覚資料が少ないので充実させてほしい。	現在検討を行っています。(中央図書館)	図書学術情報普及G
3-12	図書館	図書館を24時間体制にしてほしいです。	現在検討を行っています。(中央図書館)	図書学術情報普及G
3-12	図書館	図書館を利用できる時間が少なすぎる。学生が特に勉強したい長期休業中に17時に閉館したり、祝日は空いていなかったりする。それでいて「最近の学生は勉強しない」と言われても困る。	現在検討を行っています。(中央図書館)	図書学術情報普及G
3-12	図書館	中央図書館だけでもいいので閉館時間について再検討してほしい。	授業期と平日は24時まで開館延長を行っています。(2018年4月より、中央図書館)	図書学術情報普及G
3-12	図書館	休日の図書館を平日と同じ時間まで開けてほしい。また、夜遅くまで自習できるスペースが欲しい。(法学部・学部生)	現在検討を行っています。(中央図書館)	図書学術情報普及G
3-12	図書館	図書館の開館時間が他の大学に比べて短いように思う。特に休日は早く閉館してしまうので利用しづらいと思ったことがある。学生が勉強する場をもっと提供してもらえたらよいと思う。(法学部・学部生)	現在検討を行っています。(中央図書館)	図書学術情報普及G
3-12	図書館	図書館の利用期間を増やしてほしい。授業のある平日は現状に満足しているが、休日・長期休暇中など勉強に専念するのに最適な時期の利用時間が短いように感じる。世界トップ100の大学を目指すのであれば、より勉学に励む環境づくりを徹底してもらいたい。(理学部・学部生)	現在検討を行っています。(中央図書館)	図書学術情報普及G
3-12	図書館	図書館が土日の夜は24時間利用が不可能になっていますが、テスト期間だけでもいいのでぜひ24時間利用ができるようにしてほしいと思います。(歯学部・学部生)	7月に実施する予定です。(霞図書館)	図書学術情報普及G
3-12	図書館	テスト期間において霞キャンパスの図書館だけ特別扱いして24時間近く開館していることに不満を抱いています。学部・キャンパス等で差別しないでいただきたいです。中央図書館や東千田図書館もそのようにするか、もしくは霞図書館のそれを無くしてほしいです。	各館の状況にあわせて開館しています。	図書学術情報普及G
3-12	図書館	試験期間の図書館の開館時間を延長してください。加えて、土日の図書館の開放が中央図書館だけではキャンパスが足りません。他の図書館も開放してください。	授業期と平日は24時まで開館延長を行っています。(2018年4月より、中央図書館)	図書学術情報普及G

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
3-12	図書館	図書館の営業時間も延ばしてほしい。けっして本が借りたいからというわけではなく、勉強する場所を確保したいため、可能であればどこかの図書館のみ24時間営業になると非常にありがたい。夜間のサービスは特に必要ない。	授業期と平日は24時まで開館延長を行っています。(2018年4月より、中央図書館)	図書館学術情報普及G
3-12	図書館	図書館の営業時間を、もう少し長くしてほしい。(工学部・学部生)	授業期と平日は24時まで開館延長を行っています。(2018年4月より、中央図書館)	図書館学術情報普及G
3-12	図書館	図書館の利用時間を拡大してほしい。(文学部・院生)	授業期と平日は24時まで開館延長を行っています。(2018年4月より、中央図書館)	図書館学術情報普及G
3-13	節電	空調の温度をもっと快適にして欲しい。教室や図書館等 空調が入っていても暑すぎるのがけっこうあった。また、センサーで電気がつく廊下は暗くて少し怖いと感じる。	空調機そのものが古くなっているため、順次新しい機器に更新していく。夜間の廊下照明は、省エネの観点から1/2にしているが、必要な照度があるか測り、改善の必要が認められれば改善する。	生物圏科学研究科支援室
5-1	就職	広島大学を卒業後、働いている先輩と話ができる機会が欲しい	毎年、採用広報活動開始月に、学部3年生及び博士課程前期1年生を対象とした「就活支援ツアー」を開催しており、その中で東京や大阪で働く卒業生と在学生との懇談会を開催しています。平成30年度からは新たに広島大学を卒業後、東京、関西、広島で働いている卒業生セミナーを学内で開催予定です。詳細については、グローバルキャリアデザインセンターHP及びMyもみじ等でお知らせしますので、参加希望の方は確認しておいてください。	キャリア支援G
5-1	就職	・職種の情報提供、進路設計支援等を個別に受けられる相談相手が欲しい ・学生間のトラブルについて相談に乗ってくれる機関が欲しい	キャリアコンサルタント、カウンセラーの資格を有し、就職活動、進路選択、学生生活等の相談に対して経験豊富な専任相談員が学部に常駐しています。 就学相談室からは、入学時や進級時のガイダンスで利用案内を行ってききましたが、さらに教養ゼミ等で一年生にも利用を促すよう学部内教職員への周知を図っていきます。	文学研究科就学相談室
5-1	就職	就活セミナーの時間設定の拡大を希望	・講師、教室等の調整の問題から、現在文学部独自で実施している講座については日時の拡大は難しいと考えています。 ・以前より、不参加者に対応できるよう、文学部内では講座概要を記したサテライト展示を行っています。 ・講座内容については、就学相談室の相談員から個別にレクチャーを受けられるよう準備が整っています。個人の希望する時間に予約来談することで、不参加分の講座についてはフォローしていけると考えています。	文学研究科就学相談室
6-1	学費	授業料の金額に相当する授業形態や設備が十分に整っていない。	具体的な要望が分からないため対応しがたいです。	文学研究科支援室
6-2	経済支援関係	・(私費留学生奨学金)奨学金数の拡充	SGUの採択に伴い、いくつかの財団から新たに大学推薦枠を獲得しました。また、大学内では入学前奨学制度を整備し、少しでも経済的な不安が緩和されるよう努めています。	学生生活支援G(経済)
6-2	経済支援関係	・(私費留学生奨学金)同時にたくさんの方の大学推薦奨学金に申請したい	同時に採用された場合、併給を認めている奨学金はほとんどなく、どちらかを辞退することになります。各財団でも慎重に審査し、理事会等の議を経るなどそれなりのプロセスを経て採用決定しています。それを辞退することが続けば広島大学の採用枠は必ず減少します。そのため、大学推薦は結果が出るまで次の申請を控えていただいております。本学への信頼に基づいて奨学金をいただいております旨、ご理解ください。	学生生活支援G(経済)
6-3	奨学金	My japanese labmates treat differently to japanese scholarship recipient compare to other countries scholarships recipients. They seem to be underrate/demeaning me. Sometimes I feel offended.	教員対象に留学生対応のFDを実施しています。 留学生のケアについては、留学生担当教員が相談窓口になっていること、また本部にも留学生相談窓口があることを、留学生に対して再度周知します。	生物圏科学研究科支援室
7-2	規範・マナー・モラル等	共用部分のマナーが悪い	ごみ、荷物の放置に対し、学生に注意喚起するとともに、事務職員が定期的に清掃を行っていましたが、講義棟改修に併せ、清掃業者によるごみ、荷物の撤去を行うことを検討しています。	霞地区運営支援部学生支援G(歯学部)
7-2	規範・マナー・モラル等	駐輪場の自転車の止め方のマナーが悪い。大学から改善するよう呼びかけがあると改善するかもしれない。自転車の走行禁止区域も最近設置されているが、守っていない人が多いように感じる。	新入生ガイダンスなどでマナー向上をお願いしています。 大学側の問題というよりも学生自身の問題でもあるので、自分たちがマナーを守り、利用しやすい環境となるようにしていただきたいです。	生物圏科学研究科支援室

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
7-3	飲酒・喫煙	未成年飲酒	教育学部では、新入生オリエンテーションでの注意喚起や課外活動団体への注意喚起を行っています。更に全学生に対しては、未成年の飲酒、飲酒の強要の禁止について、もみじ掲示板やポスターの掲示等により注意喚起し、防止に努めます。	教育学研究科支援室
7-4	清掃	・講義棟1階ロビーの机がベタベタしている。 ・ゴミが多い気がする。	法学部・経済学部では、清掃担当者が清掃周期を決めて実施しております。今後の対応を検討しますので、不衛生な日時・場所を具体的に教えてください。また、きれいな環境を保つためには、利用する学生の皆さんの心掛けも不可欠です。ゴミを放置しない等のマナーを守り、環境保全へのご協力をお願いします。なお、ごみ箱の容量が少ないためにごみが散乱しているようでしたら、お知らせください。	社会科学研究科支援室
8-1	相談	学内相談室の秘密管理への疑問	<意見対象が、文学研究科就学相談室に対するものなのか不明であることを考慮に入れた上での回答> ・今後も守秘を徹底していきます(相談員、面談記録、諸データから個人が特定され相談内容が外部に伝わることがないよう管理をしています)。 ・就学相談室の体制上、教員から就学相談室に学生を紹介され、三者で対応を図るケースは多数あります。この場合は、これまでと変わらず、相談学生本人の了承を得た上で、相談室から教員とも連絡をとるという流れを徹底していきます。	文学研究科就学相談室
8-1	相談	就学相談室の予約が取りづらいことへの不満	平成30年度から、就学相談室の開室日を週2日(火・金)から週5日に増加したことにより予約を取りやすくしました。なお、うわさを聞きつけ文学部・文学研究科以外の学生も利用しています。	文学研究科就学相談室
10-1	国際交流・留学	・留学生と交流する生徒が限定されていると思う。もっと、広島大学の学生全体での受け入れ体制を作るべきだと思う。 ・留学生としてここでの生活はすこしだけつまらないと思います。もっと留学生と日本人学生とのつながりが作ってくれればいいと思いますね。 ・I'm looking for activities outside school like hiking, biking and cultural exchanges. I'd like to be immersed in Japanese culture especially cooking. ・Please increase the extracurricular activities that are carried in English.	広島大学では、以下のような多様な国際交流の機会を設けています。 ○International Luncheon 参加者が昼食を持ち寄り、昼食をとりながら留学生と日本人学生が交流するイベント(週1回程度実施)。使用言語は自由で、語学力に関わらず気軽に参加が可能です。 ○Regional World Cooking 日本人学生と留学生と一緒にその国の伝統的な料理を作り、食べることを通して世界各国の食文化を学びます。主に英語と日本語を使用するが、語学力は問いません。 ○International Night 留学生が、出身国・出身地の文化や歴史を紹介(プレゼン)するイベント。日本人学生と留学生がお互いの文化について理解を深めることを目的としています。 ○なるほど！ Cross Cultural Discussion 日本人学生と留学生が、議論を通してお互いの考え方の違いを理解することを目的とした異文化交流イベント。毎回異なる様々なテーマについて、主に英語を使用してグループ・ディスカッションを行います。 ○異文化交流会 オタフクソース、やまだ屋、中国産業などの協力を得て、様々な文化をもつ留学生・教職員が飲食を共にして交流できるよう、ラマダン(イスラム教における断食月)が明けた時期に開催しています。 ○国際交流メーリングリスト(NOIE) 国際交流に興味のある留学生・日本人学生が登録するメーリングリストで、随時登録を受け付けています。このメーリングリストを通じて、国際交流グループから、各種国際交流イベントや国際交流ボランティアの情報を提供します。 ○その他の国際交流イベント 学生の企画に基づき、季節を感じられるイベント(4月に新渡日した留学生がすぐに学生同士の交流が始められるように企画している「花見」、10月新渡日の留学生には紅葉を見ながら交流する「ハイキング」、「サッカー」など)を実施しています。 こうした学内の国際交流イベントを是非活用してください。	国際交流G(地域交流・生活支援)
10-1	国際交流・留学	・東千田キャンパスでも留学対策の授業や説明会、留学に関する相談が気軽にできる場所などがあつたらぜひ活用したい	2018年7月開催の留学説明会を東千田にTV会議で中継することとしました。夜間主コースの学生さんにも参加いただけるよう5コマ目の時間帯に行います。	国際交流G(留学交流)
10-1	国際交流・留学	・留学を促進するのであれば、参加必須のセミナーを学科ごとに実施するなど、もっと留学を身近に感じさせるような配慮をしてほしい	全新生入生に入学後の早い段階で留学・国際交流の意義や制度などを意識していただけるよう、学部1年次第1ターム開講の必修科目「大学教育入門」において、国際センターの教員が「留学と異文化理解」というテーマでの講義を行いました(平成30年度入学生より)	国際交流G(留学交流)
10-1	国際交流・留学	・留学等において、個人的な家庭の事情なども加味して安心して相談できる場所がほしい	学生プラザ1Fの留学アドバイジングスペースや国際交流グループの事務室内では相談しにくい場合、ご希望があれば国際交流グループ職員が個室(学生プラザ1Fミーティングルームなど)での相談をお受けいたします。	国際交流G(留学交流)
10-1	国際交流・留学	・海外に留学するための制度が少ない	留学プログラム数及び派遣学生数については毎年拡大に努めており、パンフレット「海外留学のススメ」や、「もみじTOP>学びのサポート>留学」のページ、Myもみじ掲示等でご案内しているところです。また、より多くの機会をご利用いただけるよう、学外機関主催の留学プログラムや海外留学奨学金についても、随時「もみじTOP>学びのサポート>留学」のページやMyもみじ掲示等でご案内しています。	国際交流G(留学交流)

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
10-1	国際交流・留学	・専門分野での交換留学制度などがあればよい	特定の学部・研究科や分野においては「AIMS-HUプログラム」「PEACE学生交流プログラム」「国際リンケージ型学位プログラム(ILDP)」などの交換留学制度を実施しています。 また、全学部・研究科の学生を対象とした交換留学「HUSAプログラム」を利用して、海外の大学で専門分野の授業を受けることも可能です。大学院生の場合、HUSA協定校等の教員の下での研究指導を目的とした留学をすることも可能です(本学の指導教員を通じて留学を希望する大学の教員と事前相談を行った上で、HUSA面接試験実施日までに受入承諾を得ることが必要です)。 このほか、各学部・研究科独自の留学制度については、パンフレット「海外留学のススメ」にも掲載しておりますが、その都度募集が行われるものもあるため、所属学部・研究科での掲示等をご確認ください。	国際交流G(留学交流)
10-1	国際交流・留学	留学生を増やす試みには賛成できるが、十分な受け入れ態勢が整っていない状況でいざに人数を増やすのは、留学生本人にとっても、研究室で共に生活する日本人学生にとっても良くないのではないのでしょうか。	「十分な受け入れ態勢」には、色んな要素を含むため、回答が困難ですが、大学の国際化のため留学生の受入促進策は必要です。宿舎、奨学金、各種支援が不足している認識はあるため、全学での支援、学部・研究科としての支援を充実していきます。	生物圏科学研究科支援室
10-3	学生支援体制	留学生の論文の日本語校閲	文学研究科は、博士課程前期に中国人留学生が多いということもあり、修士論文の日本語校閲支援として文学研究科の予算で行っています。今後は、博士課程後期の学生も博士論文についても対応していきます。	文学研究科支援室
10-3	ロースクール 進学対策	ロースクール進学希望者へのフォローを。	以前から法科大学院入試等の受験学生向けに、「法学論文指導入門」、「法学論文指導1,2」の授業を開講しており、今年度は法務研究科教員による授業を7科目加えて開講しています。 更に、法務研究科と連携して、法科大学院入試等の合格を目指すための特定プログラムを開講しています。 また、法務研究科が年2回(6月, 10月)法科大学院進学説明会を法学部で開催しており、司法試験受験者体験談のコーナーも設けています。	社会科学研究科支援室
10-4	単位確認	・もみじの単位確認機能を整備してほしい。 ・支援室で確認を行ってほしい。	もみじの「単位修得状況確認」機能は、他学部開設科目やカリキュラム改正に伴う読み替え等の経過措置等、すべての単位を正確に集計することができないため、法学部及び経済学部の昼間コースについては、申し出により支援室窓口で「単位修得状況確認表」を配付して、確認を促しています。 履修計画を立てるうえで、学生自身が現状の修得状況を確認し、理解しておく必要があることから、基本的には自身で学生便覧や履修確認表等を用い確認してもらうことにしていますが、そのうえで疑問点があれば、支援室にお問い合わせください。	社会科学研究科支援室
10-5	教育(カリキュラム・講義・研究・入試等)	ターム制は、逆に取れる授業の選択肢の幅を狭めているし、二コマ連続での同じ科目の講義では集中力も持たないし、一週間での予習・復習の量も多く、勉強意欲がそがれます。なので、可能な限りほとんどの科目をセメスター制にしてもらった方がありがたいです。 また、同じ授業でも担当教員によって課題や授業内容に差があって、楽なところと大変なところの差が激しい場合が結構あり、不公平に感じてしまうときがあります。それも勉強意欲に関わってくるころなので、ある程度は揃えてほしいです。	ターム制は、全学の方針で導入しています。教育効果が見込まれるため実施していますが、ご指摘のような問題があるのであれば改善できるよう検討していきます。	生物圏科学研究科支援室
10-5	教育(カリキュラム・講義・研究・入試等)	自分の取りたい授業がなかなか取れないので、単位制限をなくすか、必須科目を減らして欲しい。	履修登録制限は、過度に科目を取りすぎ、履修できなくなること及びGPAへの影響や、予習・復習を阻害し学習効果が損なわれることを考慮し規則として設けています。一方で必修科目は、教養、専門基礎など教育課程上の専門知識を体系的に学ぶために必要な科目を指定し単位修得することを義務付けたものです。特に3年生までは必修科目が多く配置されています。このような趣旨をご理解願います。	生物圏科学研究科支援室

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
10-5	教育(カリキュラム・講義・研究・入試等)	QTAに従事しており、学生実験のアシスタントをしています。拘束時間があまりに長く、その期間は自分の実験に遅れが生じざるを得ない状況が続きます。その割に時間外での準備、片付け等はもちろん、実験の授業中でも給与が支払われていない時間が多くあります。給与はともかく、せめて拘束時間だけでも短くなるよう、学生実験のコンパクト化を要望したいです。	QTA, PTAなどのいわゆる「TA」は、経済支援と学内でのワークスタディの両面を併せ持つ制度として長年大学内で継続的に行われている教育補助事業です。TAにかかる実施監督責任は、授業担当教員に委ねられ、それぞれで方法は異なるのが現状ではないかと推測しますが、不当な拘束を行う、依頼業務以外の業務を行うことは認められておらず、問題です。教員へのガイドラインを徹底させ、効率よいTA業務となるように改善します。	生物圏科学研究科支援室
10-6	もみじ	もみじ表示の改善要望 <ul style="list-style-type: none"> <li>・もみじのページを見やすくしてほしい。</li> <li>・もみじの表示をスマートフォンにも対応してほしい。</li> </ul>	平成30年度中に、もみじをスマートフォンにも対応する予定です。	教育支援G(教育情報)